

# 研修大会講師紹介

## 今年の研修大会（1/31）は、ここが凄い！

～ 今、各界で話題の講師陣！2分科会も実施決定！ ～

### ① 溝上慎一 氏 アクティブラーニングの第一人者のお話が聞ける貴重な機会です！



青年心理学、高等教育の研究者として全国で活躍する一方、桐蔭学園の教育顧問として高校におけるALを指導。以下は桐蔭学園の入学式での生徒へのスピーチ You tube「京都大学溝上慎一教授のスピーチ@入学式」より

今、多くの高校でALが行われるようになりましたが、2つの種類に分かれます。一つは、ALをやると入試の実績が上がるから、という考え。こういう学校が多く、それもいいのですが、私は皆さんが「将来、力強い大人になるため、自分を高めるため」ということを第一としたい。

### ② 佐伯啓思 氏 国家観・国家論を分かりやすく、そして鋭く解説します！



◇どうやら戦後日本人を支えてきた民主主義と経済成長が、逆に、われわれを窮屈な社会においやっているようにみえる。だとすれば、民主主義と経済成長という戦後日本の価値をわれわれは見直す必要に迫られるだろう。『さらば、資本主義』（新潮新書）

◇日本の伝統的な価値観は、決して個人の自由礼讃や富の称賛をしてきたわけではありません。それどころか、「個人の自由」や「経済的な富」に対しては随分と警戒的だったのです。『反・幸福論』（新潮新書）

◇戦争で負けたことにより、日本の伝統的な歴史観や価値観や思想が否定され、アメリカ風の合理的精神や、理性というものが押し付けられてきた。そのくせ表向きは日本とアメリカは価値観を共有しているという言葉で矛盾が糊塗されてきたのである。『従属国家論』（PHP 新書）

### ③ 施光恒 氏 近著『英語化は愚民化』が売れています！佐伯氏との夢の対談に注目！



夕刊フジ公式ウェブサイト「ZAKZAK」より

日本人続々ノーベル賞受賞のワケ 『英語化は愚民化』異例の大ヒット

日本人のノーベル賞受賞が続いている。（略）なぜ、日本の自然科学はこんなに強いのか？ その理由を指摘する本がヒットしている。「深く思考して新しいものをつくり出す作業は母国語が適している。ひらめきや違和感を、言語化するところから始まるからだ。そこは外国語ではできない。日本人のノーベル賞受賞が相次いでいるのは、まさに日本語教育の集大成といえる」こう語るのは、日本企業や日本社会の安易な“英語化”に警鐘を鳴らした『英語化は愚民化』（集英社新書）の著者、九州大学大学院の施光恒准教授だ。同書は発売4カ月余りで6刷に達した。・・・

### ④ 分科会「生命倫理」「特別支援教育」今年も充実した研究発表！

※ 全体会の開始前（12：00～13：00）に行います。

◇ 生命倫理分科会 「アクティブラーニングで伝える生命倫理」

◇ 特別支援教育分科会「障害児・者のネットワーク関係図  
～障害者総合支援法等の視点から～」

理科、特別支援以外の先生方も、ぜひご参加ください!!  
分科会参加者にはランチを準備します！（要事前申込）